

2015年9月28日

報道関係者各位

株式会社 仙台秋保醸造所
公益財団法人 三菱商事復興支援財団

宮城県仙台市「秋保ワイナリー」がワインの醸造を開始

株式会社 仙台秋保醸造所（以下、秋保醸造所）が、七十七銀行などによる融資に加え、公益財団法人 三菱商事復興支援財団（以下、三菱商事復興支援財団）からの 5,000 万円の出資を活用し、宮城県仙台市太白区秋保町に建設していた「秋保ワイナリー」が完成いたしました。

本日、9月28日（月）現地で開所式を行います。9月29日よりワインの醸造を開始し、今冬12月の初出荷を予定しております。

秋保ワイナリーは、県唯一のワイナリーとして、気仙沼市の山ぶどうを初めとした東北地方産のぶどう、亘理町及び仙台市産のりんごなどの原料を活かしたワイン及びシードルを製造・販売いたします。2016年には自社栽培ぶどうによるワインの生産を開始、2021年には年間29,000本のワインと7,000本のシードルを生産、約7,400万円の売上を上げることを目指します。

また、果実酒の販売以外にも、ワインの試飲コーナーを充実させる他、ワイナリー内の施設を利用したワインの知識や飲み方を学習するセミナーの開催、畑や醸造施設などを見学するワインツーリズムを計画しており、宮城県でのワイン文化普及や観光人口の増加に寄与することを目指します。東北産の果樹原料を活用し、人・モノ・産業・地域をつなぐ新たな観光資源となることで、被災地の産業復興に重要な役割を果たしていきたいと考えています。

将来的には、起業家向けにセミナーを開催し、ワイナリーの起業や運営に必要な知識と実践技術を学べる場を提供いたします。さらに、県内にワイナリーが新設される際にサポートを行うなど、宮城県産の果樹を利用したワイン造り（六次産業）を支援し、新たな雇用創出、耕作放棄地の解消を推進することで、地方創生に積極的に貢献して参りたいと考えています。

三菱商事復興支援財団は、宮城県における農業復興、観光振興、社会貢献、雇用の創出等を目指す秋保醸造所の事業を支援しています。

東日本大震災から 4 年半が経過しましたが、被災地域は未だ再建途上にあります。三菱商事復興支援財団は今後も七十七銀行をはじめとする地元の金融機関と協働し、被災地域の産業復興、雇用創出、地域再生につながる事業の支援を継続して参ります。

【秋保ワイナリー 写真】

外観



内観



【秋保ワイナリー 概要】

- ① 所在地：宮城県仙台市太白区秋保町湯元字枇杷原西 6
- ② 敷地面積：2,336 m²
- ③ 醸造開始：2015 年 9 月 29 日
- ④ 生産量：年間 27,000 リットル 程度

【参考】会社・財団の概要

1. 株式会社 仙台秋保醸造所

- ① 本社所在地：宮城県仙台市太白区秋保町湯元字枇杷原西 6
- ② 設立：2014 年 3 月
- ③ 資本金：240 万円
- ④ 事業内容：ぶどう栽培、果実酒製造
- ⑤ 代表者：代表取締役 毛利 親房

2. 公益財団法人 三菱商事復興支援財団

- ① 所在地：東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 1 号
- ② 設立：2012 年 3 月
- ③ 財団規模：100 億円
- ④ 事業内容：修学が困難となった学生に対する奨学金の給付、復興支援活動に従事する非営利団体等への助成金の給付、その他被災地の産業復興・雇用創出等に資する事業

⑤代表者 : 会長 小林 健 (三菱商事 代表取締役社長)
副会長 廣田 康人 (三菱商事 代表取締役 常務執行役員)
代表理事 野島 嘉之 (三菱商事 環境・CSR 推進部長)

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社 仙台秋保醸造所 毛利 TEL : 022-226-7475
公益財団法人 三菱商事復興支援財団 広報担当 村上 TEL : 03-3210-5689